

# 絞りの新素材を提案

絞り染色の委託加工

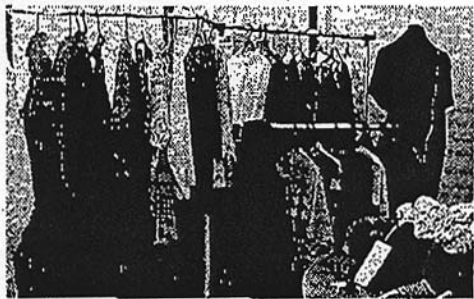
業、久野染工所（本社  
名古屋市緑区鳴海町境  
松四ノ二一、久野剛資  
社長、電話052・6  
21・1041）は従  
来の綿や絹に加え、テ  
トロンやナイロン、ウ  
ール、和紙布など化学  
繊維に独自のしわ表現  
（しわの形状固定）と  
染色を施した新素材の  
開発を進めている。

現在、

業務の90  
%は新た

な絞り染めテキスタイル  
の開発・販売が占め  
る。「着物や化粧品に  
限らず、流行ファッシ  
ョンやカーテン、クツ

## 久野染工所



絞り染めテキスタイルのサンプルが  
並ぶ室内

## 化学繊維に独自のしわ表現

ジョンなど室内インテ  
リア、アートまで幅広  
い市場が見込める「一  
年」の創業。戦後、加  
工費が安い海外へ技術  
先端に立つデザイナー  
が流出し、絞り業界も  
拡大。

手づくり  
という不  
確実な要  
素にある。芸術的な部  
分をいかに大量生産可  
能な工業製品に取り入  
れるか、これが今後の課  
題だ。

空洞化の津波が押し寄せた。それまでの職人は黙って言われた通りにつくり続けていればよかったが、閉塞が機能を果たさなくなり、「自分たちで売ること」を余儀なくされた（同）という。結果的に消費者ニーズに対応し、技術革新や新製品の開発が進んでいる。同社は、後見人育成の目的も兼ね、二十二年前から染物教室も開いている。絞り染めの最大の魅力は、すべて